

令和3年度第3回芽室町総合教育会議

日 時 令和4年2月22日(火) 15時00分から15時50分まで
場 所 芽室町役場2階会議室7

出席者	芽室町長	手島 旭
	教育委員会 教育長	程野 仁
	教育長職務代理者	鳥本 和宏
	委員	福井 栄子
	委員	松久 大樹
	委員	土井 慎悟

(事務局)	教育推進課長	有澤 勝昭
	教育推進課長補佐	清末 有二
	生涯学習課長	日下 勝祐
	政策推進課長	石田 哲
	政策推進課長補佐	佐々木 雅之
	政策推進課政策調整係主事	佐藤 拳伍

議事録

1 開会

要綱第4条に基づき、町長が議長になり進行

2 議題

(1) 令和4年度当初予算(案)について

事務局政策推進課長補佐より別紙資料について概要説明

1 農業を軸とした活力と賑わいのあるまちづくり

1-2-2 地域資源を活用した観光の振興

○【町観光・特産品普及事業】(資料6頁)

土井委員 サイクルツーリズムについて、電動自転車なども活用したら良いのかと思う。

手島町長 おっしゃるとおり、トライアルとして嵐山の林道を上ったこともあり、良いと感じた。芽室町のサイクルツーリズムとしては、散歩のようにゆっくり走りながら農業景観を見たり、途中で食事をするような「散走」に力を入れている。電動は楽で移動もしやすいことから、その観点も必要だと思う。既に体験された方や本州の若い女性から人気があり、これからも広げていきたい。トカプチ400という十勝の東側の南北を8の字で結ぶサイクルルートがあり、芽室町は入っていないため、支線としての要望を上げている。また、その支線をどのルートが良いのかということも研究を進める。

○【芽室公園について】

土井委員 芽室公園について、遊具整備や子どもが集まるために今後どのように進めていくのか。十勝管内では遊具が充実している他市町村の公園に子どもや家族が

集まり、そのことでお金も落ちているように感じている。

手島町長　　めむろ未来ミーティングなどでも芽室公園についてご意見をいただくことが多く、これからも魅力づくりを考えていきたい。町内に魅力のある場所を作ること、町内を回っていただくという仕組みの中で、芽室公園も重要だと考えている。まちなか再生として繋げていきたい。

○【防風林について】

鳥本委員　　植えた時期から40年経ち、一斉に伐期にきている。近年風害もないことから、防風林に対する意識は薄いのかと思う。

手島町長　　経営面では防風林はなくても良いのかもしれないが、自然災害における効果は間違いないことから、町としては奨励していきたい。

2 心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり

2-1-1 学校教育の充実

○【給食材料購入事業】(資料6頁)

福井委員　　給食材料購入事業において、令和2年度から食材の購入費を1人あたり22円引き上げたところがあるが、令和4年度以降の見通しはどうか。

程野教育長　　食材費の高騰を受け、子育て支援及び教育推進の意図から令和2年度より町に負担してもらっている。令和3年度については農協との連携や道からの支援があることから、予定どおり執行できている。

有澤課長　　食材費の高騰について、現状では令和4年度予算に上乗せしていない。

手島町長　　数年前から教育現場において今の給食費では厳しい現状。そのため、まるごと給食の回数を減らす議論を経てきた。材料費の単価は上がっているが、その分は町が支援させていただいている。将来においても同じように支援し続けられるかはわからないが、急激な自己負担の値上げはなるべく避けたいと考えている。

2-2-2 スポーツしやすい環境づくり

○【スポーツ人材強化・育成事業】(資料9頁)

土井委員　　「一流を見て聴いて学ぶ」という観点から、参考までにお話しさせていただく。私も所属している「北海道オール・オリンピアンズ」という北海道出身のオリンピック出場選手が集まった団体で、2030年の札幌冬季オリンピック招致を目指して、技術的指導など活動している。自治体とも連携協定を結んでおり、芽室町も機会があれば活用いただければと思う。

日下課長　　私たちも「北海道オール・オリンピアンズ」は承知しており、昨年11月に北海道を通して本町も水泳部門で提案させていただいた。冬のスポーツについても支援していただきたい。

土井委員 観光事業として活用している市町村もあると聞いている。幅広く利用いただければと思う。

3 誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり

3-3-2 高齢者福祉の充実

○【支えあいの町づくり人材育成事業】(資料13頁)

鳥本委員 若い世代とはどの世代を想定しているのか。

石田課長 高校生、専門学生、短大生、大学生など高校生以上の学生を想定している。

手島町長 介護人材不足の対策として、通常の賃金に奨励金を上乗せすることで若い世代が介護の仕事に触れる機会を増やすという発想。高校生などは介護の現場に立ち入ることは少ないことから、体験の場として活用いただきたい。

石田課長 奨励金は1時間につき100円を想定している。

5 住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり

5-1-2 住民自治の実現と地域の活力の維持

○【新型コロナウイルス対策シティプロモーション推進事業】(資料17頁)

松久委員 「(仮称)まちなか活性化構想」策定に関する業務を委託とは、イメージとして、どのようなことをお願いするのか。

石田課長 コンサルタントに対して、町民ワークショップの仕切りや多くの町民にたくさんのお意見を聞いていただくための手法について委託する。

手島町長 構想はあくまでも町が作成するが、議論の進め方のノウハウがある方々をお願いする。委託業者はこれから決めていく。将来の町の展望をマップ化した「ビジョンマップ」を作成しているが、「まちなか活性化構想」は「ビジョンマップ」のまちなか部分を切り取り、文章化するイメージ。大手のコンサルタント会社がなにか指導するというだけではなく、ある程度これまでの経験などから地元で密着した業者を選定したい。

○【地域おこし協力隊について】

松久委員 何か所かに地域おこし協力隊を採用することが記載されているが、何名くらいの予定か。また、令和4年度は地域おこし協力隊を退任したNPOとの繋がりはどのようなになるのか。

石田課長 令和4年度も継続する隊員は、生涯学習と障がい福祉の2名。新たに採用予定は、スポーツ振興と観光物産において2名。令和4年度の隊員は合計4名となる予定。NPOとの繋がりに関しては、移住定住関係、ハローワーク関係、サイク

ルツーリズムなど町から業務を委託しており、令和4年度も引き続き委託する
予定。

3 その他

4 閉会

15:50終了